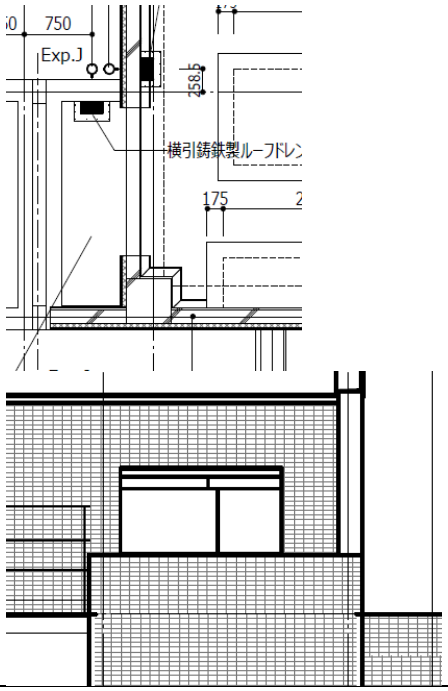
回答書

本件の質問に対する回答をいたしますので、確認をお願いします。

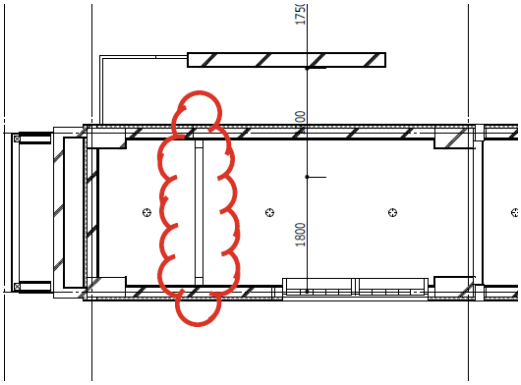
工事名 又は件名	玉幡公園総合屋内プール複合型運動施設整備工事	
No.	質問	回答
	(構造)	
1	S-001･設計書 No.7 ｺﾝｸﾘｰﾄ強度について、 特記仕様書 3.使用建築材料表と、設計書の強度が異なります。 基礎･地中梁･1F 床版で、特記仕様書は Fc24、設計書では Fc30 です。設計書の Fc30 を正と考えてよろしいですか。	設計書のとおり、基礎・地中梁・1F 床版は Fc30 を正とします。
2	S-020･AZ-120 基礎下地業について、 ﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ又は地盤改良上は、捨ｺﾝｸﾘｰﾄ t50(砕石地業なし)が必要と考えてよろしいですか。	ラップルコンクリート上は、ラップルコンクリート天端を金ごて均しとし、捨てコンクリートは不要とします。地盤改良上は、捨てコンクリート t50 とします。いずれも砕石地業は不要とします。
3	S-021･AZ-120 土間ｺﾝｸﾘｰﾄﾋﾟｯﾄ下地業について、 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ端部 配筋要領図は砕石地業 t100 のみ、断面図では捨ｺﾝｸﾘｰﾄ t50･砕石地業 t150 となっていますが、地中梁ﾘｽﾄ図 共通事項では捨ｺﾝｸﾘｰﾄ t50･砕石地業 t100 です。地中梁ﾘｽﾄ図 共通事項の捨ｺﾝｸﾘｰﾄ t50･砕石地業 t100 を正と考えてよろしいですか。	地中梁リスト図 共通事項のとおり、捨てコンクリート t50・砕石地業 t100 を正とします。
4	S-021 RC 梁貫通補強について、下記をご指示下さい。 1) 階･径毎の数量をご指示下さい。 2) 補強要領について、 ﾀﾞｲﾔﾚﾝ NS 程度(2 枚/か所)(人通孔･通気管･連通管も同様)と考えてよろしいですか。	1) 梁貫通孔は、設備図に示すもの以外は設けません。階・径ごとの数量は設備図（機械・電気）によります。 2) ご質問のとおり、ダイヤレン NS 程度（2 枚/か所）とし、人通孔・通気管・連通管も同様とします。
5	S-001 試験掘(支持層の確認)について、 深さ GL-3.5m 程度で 1 か所と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、深さ GL-3.5m 程度、1 か所とします。
	(外部仕上)	
6	AZ-101･105･120･401 屋根-01 陸屋根について、 下記をご指示下さい。 1) 平面図-R 階に排水溝図示がありませんが、水下側長辺方向に排水溝 W300 防水ﾓﾙﾀﾙ金鏝 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ2.6-50x50 が必要と考えてよろし	1) ご質問のとおり、水下側長辺方向に排水溝 W300（防水モルタル金ごて、ワイヤーメッシュ φ2.6-50×50）を見込んでください。 2) ご質問のとおり、屋上機械置場は t60～170、西・北側通路部陸屋根は t80 とします。

	いですか。 2) 押えｺﾝｸﾘｰﾄ厚みについて、外部仕上表・平面図-R 階では t80、断面図・詳細図-1 では t60～170 とくい違います。屋上機械置場は t60～170、西・北側通路部陸屋根は t80 と考えてよろしいですか。 3) 西・北側通路部陸屋根について、ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管 ｽﾃﾝﾚｽ φ60.5 を各 1 か所見込むと考えてよろしいですか。	3) ご質問のとおり、オーバーフロー管ステンレス φ60.5 を各 1 か所見込んでください。
7	AZ-003・401 下記ｺﾝｸﾘｰﾄ面について、 塗膜防水と考えてよろしいですか。 ・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端(壁天端) ・RC ｱｺﾞ、RC 壁付水切り	ご質問のとおり、パラペット天端（壁天端)、RC アゴ及び RC 壁付水切りはウレタンゴム系塗膜防水（X-2）とします。
8	AZ-105・110 屋上 FX1/FY1 通りについて、 壁開口と思われますが、壁開口詳細・開口断面詳細をご指示下さい。 	FX1 通りの壁開口は、屋外階段から屋上機械置場への出入口となる開口です。 ・開口寸法：W1,635×H1,205 程度（下端：防水立上り RC H250 天端、上端：梁下）とし、詳細寸法は施工図にて監督員と協議の上決定してください。 ・開口側部及び上部：外断熱工法の開口部役物ボードにより外装タイルを折り返す納まり（メーカー標準詳細図による）とし、残りの抱き部分はコンクリート打放し浸透性吸水防止材塗布とします。 ・開口下部：屋上側のアスファルト防水は RC 立上り天端付近まで立ち上げ、端部は防水押え金物及びシーリング処理とします。立上り天端はステンレス製笠木（t1.5 程度、滑り止め加工）で覆い、防水端部及び外断熱上端を納めてください。
9	AZ-101・106・120・401 屋根-02 勾配屋根について、 下記をご指示下さい。 1) 屋根仕様・構成が下記のようにくい違います。 ・外部仕上表、屋根伏図、詳細図-1_2 NS 耐酸被覆鋼板平葺き ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t0.4、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ、耐火野地板 t18、ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ 3 種 bAt60、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ・断面図-1 NS 耐酸被覆鋼板平葺き ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t3.5、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ、耐火野地板 t18、通気用金属垂木 H20、構造用合板 t12、ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ 3 種 bAt60、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 外部仕上表、屋根伏図、詳細図-1_2 を	1) 外部仕上表、屋根伏図、詳細図-1_2 を正とします（通気用金属垂木、構造用合板は不要)。 2) メーカー・品番の指定はありません。外部仕上表に示す仕様・性能を満たすものとし、監督員の承諾を受けてください。 3) ご質問のとおり、屋上機械置場に放流とし、軒樋等は不要とします。 4) ご質問のとおり、勾配屋根下地 RC 面はコンクリート直均し（金ごて）仕上げとします。

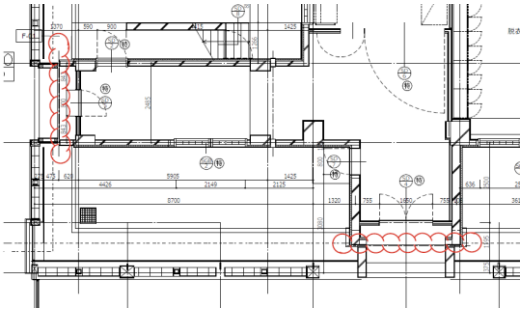
	正と考えてよろしいですか。 2）勾配屋根 NS 耐酸被覆鋼板平葺き ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t0.4 のﾒｰｶｰ・品番をご指示下さい。 3）雨水排水について、屋上機械置場に放流とし、軒樋等不要と考えてよろしいですか。 4）勾配屋根 下地 RC 面はｺﾝｸﾘｰﾄ面金鏝と考えてよろしいですか。	
10	AZ-106・120・401・406・S-013 屋根-02 勾配屋根立上りについて、 下記をご指示下さい。 1）詳細図-6 ではｼｰﾄ防水立上りと図示がありますが、詳細図-1_3 より屋根立上り取り合い雨押え+RC 立上り浸透性吸水防止材と考えてよろしいですか。 2）上記 1)が異なる場合は、勾配屋根～立上りの納まり詳細をご指示下さい。 3）FX3 通りについて、詳細図-6_1・構造軸組図ではﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ立上りの図示がありますが、屋根伏図・断面図-1 では立上り図示がなくくい違います。立上り無しと考えてよろしいですか。 4）上記 3)が異なり立上りが必要な場合は、立上り平面範囲、雨水排水詳細をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、屋根立上り取合いは雨押え＋RC 立上り浸透性吸水防止材とします。 2）上記 1）のとおりです。 3）ご質問のとおり、立上り無しとします。 4）上記 3）のとおりです。
11	AZ-101・106・407 ﾃﾗｽ 庇 01 について、 下記をご指示下さい。 1）庇屋根 NS 耐酸被覆鋼板は、勾配屋根-02 と同品番と考えてよろしいですか。 2）軒先について、外部仕上表・屋根伏図では軒先ｱﾙﾐ製水切り金物 75x135 t2.0、詳細図-7_ﾃﾗｽ庇詳細図では破風 NS 耐酸被覆鋼板 H270 とくい違います。ﾃﾗｽ庇詳細図を正と考えてよろしいですか。 異なる場合は、軒先ｱﾙﾐ製水切り金物の納まり詳細・ｱﾙﾐ仕上げをご指示下さい。 3）庇軒天井について、外部仕上表・屋根伏図ではｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t2.5、詳細図-7_ﾃﾗｽ庇詳細図ではｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t13 幅 100 ﾌｯ素樹脂焼付塗装 LGS 下地とくい違います。ﾃﾗｽ庇詳細図を正と考えてよろしいですか。 異なる場合は、ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ仕上をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、勾配屋根-02 と同品番とします。 2）テラス庇詳細図を正とします（破風 NS 耐酸被覆鋼板 H270）。 3）テラス庇詳細図を正とします（アルミスパンドレル t13 幅 100 ふっ素樹脂焼付塗装、LGS 下地）。 4）アルミスパンドレルのメーカー・品番の指定はありません。上記仕様を満たすものとし、監督員の承諾を受けてください。 5）エポキシ系塗料は、公共建築工事標準仕様書による亜鉛めっき鋼面用（2 液形エポキシ樹脂系）とし、メーカー・品番の指定はありません。色は監督員と協議してください。

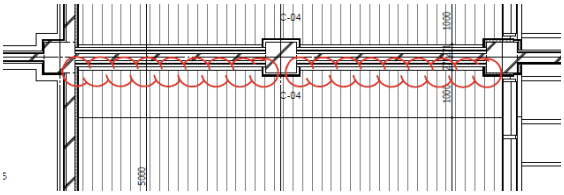
	4) 上記 3) ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙが正の場合、ﾒｰｶｰ・品番をご指示下さい。 5) ﾃﾗｽ庇詳細図において、鉄骨部 亜鉛ﾒｯｷの上 ｴﾎﾟｷｼ系塗料塗と図示がありますが、ｴﾎﾟｷｼ系塗料の仕様詳細・ﾒｰｶｰ・品番をご指示下さい。	
12	AZ-101・105・407 北側通路部陸屋根 防水について、 外部仕上表・平面図-R 階ではｱｽﾌｧﾙﾄ防水、詳細図-7_EXP.J 屋根詳細図ではｼｰﾄ防水とくい違います。ｱｽﾌｧﾙﾄ防水を正と考えてよろしいですか。	外部仕上表・平面図-R 階のとおり、アスファルト防水を正とします。
13	AZ-101・405・406 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ笠木について、 下記をご指示下さい。 1) ｱﾙﾐﾆｳﾑ笠木と図示がありますが、既製品とし、ｴｰﾋﾞｰｼｰ商会:ｱﾙｳｨﾄﾗ RD A(W225～275)、MAG(W450)同等と考えてよろしいですか。 2) 詳細図-5_外壁納まり図-1 において、外壁天端に防水ｼｰﾄと図示がありますが、外断熱取り合い部笠木下に捨て笠木+ｼｰﾄ防水を見込むと考えてよろしいですか。	1）ご質問のとおり、既製品とし、エービーシー商会：アルウィトラ RD A（W225～275)、MAG（W450）同等品とします。 2）ご質問のとおり、詳細図-5（AZ-405）のとおり、外断熱取合い部の笠木下に捨て笠木＋シート防水を見込んでください。
14	AZ-401 屋上ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水下 立上りについて、 亀裂誘発目地 W20xD20 貧調合ﾓﾙﾀﾙ充填を設けると考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、亀裂誘発目地 W20×D20（貧調合モルタル充填）を設けてください。
15	AZ-401 ﾊﾄ小屋 外壁仕上について、 RC 壁付水切りより上部 外壁は浸透性吸水防止材と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、RC 壁付水切りより上部の外壁は浸透性吸水防止材塗布とします。
16	AZ-003・403 ﾃﾗｽ・露天風呂ｱｽﾌｧﾙﾄ防水について、 特記仕様書-2 で E-1 ﾃﾗｽと図示がありますが、外部の為、AI-1 と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、外部のため AI-1（断熱工法）とします。
17	AZ-101・123 屋外階段 手すりについて、 下記をご指示下さい。 1) FB 部材について、外部仕上表では FB-39x9 となっていますが、階段詳細図より FB-38x9 と考えてよろしいですか。 2) 仕上げは、亜鉛めっき(素地仕上げ)と考えてよろしいですか。	1）階段詳細図のとおり、FB-38×9 とします。 2）ご質問のとおり、溶融亜鉛めっき（素地仕上げ）とします。
18	AZ-405・406 外壁 外断熱工法のﾒｰｶｰ・品番について、 ﾉｻﾞﾜ:ﾊｲﾊﾟｰﾄ外断熱工法同等と考えて	ご質問のとおり、ノザワ：ハイパート外断熱工法同等品とします。

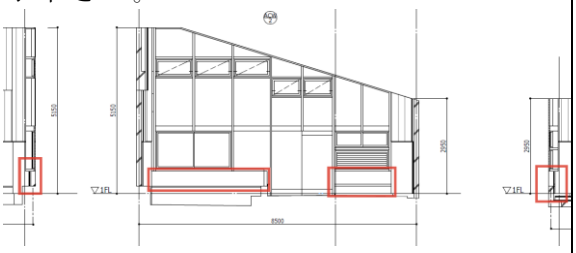
	よろしいですか。	
19	AZ-405･406 外壁 外断熱工法部の RC 壁ﾌｶｼｺﾝｸﾘｰﾄについて、 詳細図-5 外壁納まり図-1･4･5 や詳細図-6 の通り、ﾌｶｼｺﾝｸﾘｰﾄは不要(詳細図-5 壁床納まり図より防水立上り上部は必要)と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、外断熱工法部のフカシコンクリートは不要とします（防水立上り上部は必要)。
20	AZ-302･303 外壁 外断熱工法部 ｻｯｼ抱きの仕上げについて、 建具詳細図より外装ﾀｲﾙを折り返すと考えてよろしいですか。 又、抱き寸法(D78.5)より、規格寸法の役物ﾀｲﾙではないと考えてよろしいですか。	1）ご質問のとおり、外装タイルを折り返すものとします。 2）ご質問のとおり、規格寸法の役物タイルではなく、切物にて対応してください。
21	AZ-406 詳細図-6 外壁袖壁(内側)の下地について、 下記をご指示下さい。 1）4 外壁(ﾃﾗｽ)の下地が 20+21.5+8.5 とありますが、ﾌｶｼｺﾝｸﾘｰﾄ(20)+ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ(21.5)+ﾀｲﾙ(8.5)と考えてよろしいですか。 2）7 外壁(袖壁)の下地は、ﾀｲﾙ下ﾓﾙﾀﾙ(21.5)+ﾀｲﾙ(8.5)とし、ﾌｶｼｺﾝｸﾘｰﾄは不要と考えてよろしいですか。	1）ご質問のとおり、フカシコンクリート(20)＋タイル下モルタル(21.5)＋タイル(8.5)とします。 2）ご質問のとおり、タイル下モルタル(21.5)＋タイル(8.5)とし、フカシコンクリートは不要とします。 なお、フカシコンクリート(20)は、下部に防水立上りが来る箇所に設けるものとし、防水立上りが来ない箇所は不要とします。
22	AZ-101･111 樋-01･02 について、 下記をご指示下さい。 1）設計書_金属工事において、飾り桝の計上がありますが、竪樋毎の飾り桝 仕様詳細をご指示下さい。 2）樋-02 排水ｶﾊﾞｰについて、仕様詳細をご指示下さい。	1）飾り桝は既製品とし、樋-01（ガルバリウム鋼板製竪樋）は同材の飾り桝、樋-02（SUS 製竪樋）は SUS 製飾り桝（A 形）とします。 2）排水カバーは SUS 製既製品とします。
23	AZ-003･101･110･111･405 外部巾木-01 防水複合塗材 E について、 ﾒｰｶｰ･品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。 防水形複層塗材 E（JIS A 6909）とし、監督員の承諾を受けてください。
24	AZ-101･110･111 外壁-02 浸透性吸水防止剤(ｼﾗﾝ系)について、 ﾒｰｶｰ･品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。 シラン系浸透性吸水防止材とし、監督員の承諾を受けてください。
25	AZ-101 定礎について、 不要と考えてよろしいですか。 設置される場合は、仕様･詳細をご指示下さい。	定礎は不要とします。
26	AZ-407 EXP.J について、 屋根･外壁 EXP.J のﾒｰｶｰ･品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。 SUS 製 W150 耐火仕様（屋根・外壁）とし、監督員の承諾を受けてください。

	(内部仕上)	
27	AZ-003･102･400･S-009 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ･ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ下のｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞについて、 下記をご指示下さい。 1）厚みについて、特記仕様書では t10 ですが、仕上詳細図 F-01･F-02 では t30 とくい違います。仕上表ｽﾗﾌﾞ高及び構造伏図より t30 を正と考えてよろしいですか。 2）仕様･ﾒｰｶｰ品番等をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、t30 を正とします。（特記仕様書の記載誤りです。） 2）セメント系セルフレベリング材とし、メーカー・品番の指定はありません。監督員の承諾を受けてください。
28	AZ-005･102･400 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ天井 岩綿吸音板について、 特記仕様書では普通 t9 ですが、仕上表･仕上詳細図では t12 ｷｭｰﾌﾞとくい違います。仕上表･仕上詳細図を正と考えてよろしいですか。	仕上表・仕上詳細図のとおり、岩綿吸音板 t12（キューブ）を正とします。
29	AZ-140 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ天井の下記について、 天井伏図に図示がありますが、凡例がありません。仕様詳細をご指示下さい。  	天井伏図の当該表示は図面の修正漏れです。仕上表・仕上詳細図のとおりとし、当該表示部分に別途の仕様はありません。
30	AZ-102･150･200･400 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ 壁･柱型(W-08)の仕上について、 下記をご指示下さい。 1）平面詳細図に凡例(W-08)があり、仕上詳細図ではｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 浸透性吸水防止材(ｼﾗﾝ系)塗布ですが、仕上表に指示がありません。平面詳細図凡例･仕上詳細図を正と考えてよろしいですか。 2）浸透性吸水防止材(ｼﾗﾝ系)塗布のﾒｰｶｰ品番等をご指示下さい。	1）平面詳細図凡例・仕上詳細図のとおり、コンクリート打放し仕上 浸透性吸水防止材（シラン系）塗布を正とします。 2）メーカー・品番の指定はありません。監督員の承諾を受けてください。
31	AZ-005･200･400 壁 開口上部のひび割れ防止処理(V 目地 10x10)について、 下記をご指示下さい。 1）塩ﾋﾞ ﾊｯﾄ型目地と考えてよろしいですか。	1）ご質問のとおり、塩ビ製ハット型目地とします。 2）W-09 面は、開口上部の V 目地は設けず、開口隅部にボードの継目が生じない割付（開口部はボードをくり抜いて張る）とします。

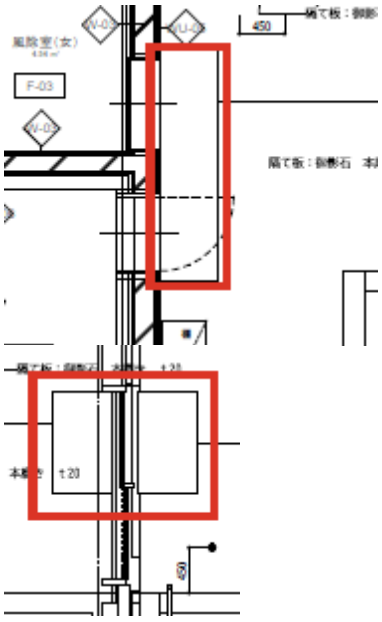
	2）壁凡例 W-09(GB-Ft21x2)面について、PBt9.5 増張りの上、ひび割れ防止処理を設置すると考えてよろしいですか。	
32	AZ-400 壁凡例 W-09(GB-Ft21x2)について、 下記をご指示下さい。 1）吉野石膏:S ｳｫｰﾙﾜﾝ ﾊﾟﾃ処理工法と考えてよろしいですか。 2）裏面の仕様について、W-02(GB-Rt12.5x1 枚)と考えてよろしいですか。	1）壁凡例 W-09 は、平成 12 年建設省告示第 1399 号の例示仕様による耐火間仕切壁とします。特定の製品・認定工法の指定はなく、継目はパテ処理としてください。 2）告示仕様のとおり、裏面も強化石膏ボード t21×2 枚張りとします（両面張り、天井裏上スラブまで)。
33	AZ-003･121 天井 LGS の耐震補強について、 特記仕様書では耐震性を考慮した補強を行わないに適用印がありますが、浴室勾配天井部はふところ H3000 を超えるため、当社の耐震補強の仕様(水平震度 Kh1.0、垂直震度 Kv0.5)にて補強を見込んでよろしいですか。	特記仕様書のとおり、耐震性を考慮した天井（計算による耐震補強）とはしません（特定天井には該当しません)。ふところの大きい浴室勾配天井部は、断面図に示す振れ止めのとおり、公共建築工事標準仕様書による吊りボルトの水平補強及び斜め補強（天井ふところ 1.5m 以上の場合の補強要領に準じる）を行ってください。天井ふところが 3m を超える部分も同様とします。なお、施工にあたり補強の追加が必要な場合は、監督員と協議してください。
34	AZ-104 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ 曲面壁下地について、 FG ﾎﾞｰﾄﾞ t6+t6 と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、FG ボード t6＋t6 とします。
35	AZ-104･200 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ-脱衣室間の防煙垂れ壁の下端納まりのついて、 ｽﾁｰﾙ t1.6 曲げ加工 SOP 枠と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、スチール t1.6 曲げ加工 SOP 枠とします。
36	AZ-151･400 脱衣室(女) RC 面壁について、 平面詳細図 RC 壁面に W-01･WU-02 の指示がありますが、仕上詳細図より WU-02 は LGS 面のためくい違います。W-01･WU-01 に読み替えてよろしいですか。	ご質問のとおり、W-01・WU-01 に読み替えてください。
37	AZ-102･150･151 脱衣室(女)･(男) 袖壁小口について、 壁同仕上げと考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、袖壁小口は壁と同仕上げとします。
38	AZ-104･408･S-009 EXP.J について、 下記をご指示下さい。 1）1 階伏図より床の EXP.J は無しと考えてよろしいですか。 2）ﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、床の EXP.J は無しとします。 2）メーカー・品番の指定はありません。SUS 製 W150 とし、監督員の承諾を受けてください。
39	AZ-104 既存取合について、	ご質問のとおり、既存取合い部（下部）の EXP.J は改修工事に含みま

	設計書より、下部部分の EXP.J は改修工事と考えてよろしいですか。 	す。
40	AZ-003・120・400・402～404 浴室のｱｽﾌｧﾙﾄ防水について、 断面図では改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水ですが、特記仕様書では改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水に適用印がなく、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 E-1 の施工場所に浴室・ｻｳﾅ・風除室の指示があります。E-1 と考えてよろしいですか。 異なる場合は、改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水のﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	断面図のとおり、改質アスファルトシート防水とします（特記仕様書のアスファルト防水 E-1 の記載は誤りです）。工法はトーチ工法又は常温粘着工法とし、メーカー・品番の指定はありません。監督員の承諾を受けてください。
41	AZ-102・120・400 ｻｳﾅの防水について、断面図では耐熱ｳﾚﾀﾝ塗膜防水ですが、仕上詳細図 F-15 ではｱｽﾌｧﾙﾄ防水とくい違います。ｱｽﾌｧﾙﾄ防水を正と考えてよろしいですか。 異なる場合は、耐熱ｳﾚﾀﾝ塗膜防水のﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	仕上詳細図 F-15 のとおり、アスファルト防水（改質アスファルト防水）を正とします。
42	AZ-003・400・403・405 浴室他床 押えｺﾝｸﾘｰﾄ内のﾜｲﾔｰﾒｯｼｭについて、 特記仕様書では φ6-150x150、洗い場詳細図・壁床納まり図-2 では φ4-150x150、仕上詳細図 F-04～06 では φ-6x100x100 とくい違います。仕上詳細図 F-04～06 の φ-6x100x100 を正と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、仕上詳細図 F-04～06 の φ6-100×100 を正とします。
43	AZ-104・120・121・400・402～405 浴室立上りのｱｽﾌｧﾙﾄ防水の範囲について、 各詳細図より下記の通りと考えてよろしいですか。 浴槽廻り:立上り天端+150 まで ﾗｲﾆﾝｸﾞ (かけ湯・ｼｬﾜｰ):天端+150 まで 他(独立洗い場含む):FL+150 まで	ご質問のとおりとします。
44	AZ-120・402・403・405 浴層間の立上りについて、 下記をご指示下さい。 1）断面図-1 より立上りは躯体ｽﾗﾌﾞからと考えてよろしいですか。 2）浴槽間の温度が異なる為、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水及び断熱材は各浴槽毎に立上げると考えてよろしいですか。	1）ご質問のとおり、立上りは躯体スラブからとします。 2）ご質問のとおり、アスファルト防水及び断熱材は浴槽ごとに立ち上げてください。 3）ご質問のとおりとします。 4）ご質問のとおり、柱型廻りにも保護コンクリートを設置してください。

	3）上記質疑より、浴槽間の納まりは、RC 立上り(躯体ｽﾗﾌﾞより)W100+(両側)磁器質ﾀｲﾙ+下地ﾓﾙﾀﾙ+保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t50+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ t25+ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+下地ﾓﾙﾀﾙ t15、天端 W350 と考えてよろしいですか。 4）浴槽内の柱型取合について、平面図では柱型と浴槽立上りが面一の図示ですが、断熱材設置の為、柱型廻りにも保護ｺﾝｸﾘｰﾄを設置すると考えてよろしいですか。	
45	AZ-104･121 浴槽 ﾀｲﾙについて、 断面図-2 ではﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 22 角張りの図示ですが、仕上表 ﾀｲﾙ参考型番では 1200x196 角ﾀｲﾙとくい違います。仕上表 ﾀｲﾙ参考型番を正と考えてよろしいですか。	仕上表 タイル参考型番を正とします。
46	AZ-104･203･204･404 かけ湯ﾗｲﾆﾝｸﾞのﾀｲﾙ仕上について、 仕上表 ﾀｲﾙ参考型番では浴室壁は磁器質ﾀｲﾙ t9.5(名古屋ﾓｻﾞｲｸ工業: PAN-U8020G)ですが、ﾗｲﾆﾝｸﾞ(かけ湯)詳細では磁器質ﾀｲﾙ t10 です。かけ湯ﾗｲﾆﾝｸﾞ廻りのﾀｲﾙは、全て磁器質ﾀｲﾙ t10 (名古屋ﾓｻﾞｲｸ工業: CTC-01011F)と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、かけ湯ライニング廻りのタイルは全て磁器質タイル t10（名古屋モザイク工業：CTC-01011F）とします。
47	AZ-104･151･152･203･204･403･404 浴室排水溝･排水桝について、 下記をご指示下さい。 1）排水溝の仕上について、床仕上と同じ磁器質ﾀｲﾙと考えてよろしいですか。 2）排水桝内の仕上について、ﾓﾙﾀﾙ金鏝素地仕上と考えてよろしいですか。 3）樹脂製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 200 角について、ﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、床仕上と同じ磁器質タイルとします。 2）ご質問のとおり、モルタル金ごて（素地仕上げ）とします。 3）メーカー・品番の指定はありません。樹脂製グレーチング 200 角（受枠共）とし、監督員の承諾を受けてください。
48	AZ-104･140 浴室天井について、 下記をご指示下さい。 1）PY2 通り壁際の納まりについて、天井伏図に二重線の表記が有りますが、何を表現しているのか不明です。仕様･及び納まり詳細をご指示下さい。  2）不燃ﾊﾞｽﾊﾟﾈﾙのｱﾙﾐ廻縁について、樋付と考えてよろしいですか。	1）PY2 通り壁際の二重線は、下部の梁及び梁からのふかし壁を示すものです。天井は不燃バスパネル張りとし、壁との取合いはアルミ廻縁とします。 2）ご質問のとおり、樋付きとします。
49	AZ-132･203･204･302･303 浴室壁の下記部分について、	建具ではなく腰壁部分です。仕上げは浴室壁と同様とし、展開図によりま

	展開図では建具の様に見えますが、ACW 姿図及び詳細図では該当部分に建具がありません。納まり詳細をご指示下さい。 	す。
50	AZ-102･400 下記項目のﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。 1) 通路休憩ｽﾍﾟｰｽ床：ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t3.0 2) 脱衣室他床：防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t3.5 3) 機械室床:防塵塗装(ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂系) 4) 脱衣室腰壁他:不燃化粧板 t6.0 5) 浴室他壁･天井:不燃ﾊﾞｽﾊﾟﾈﾙ t9.0+防湿ｼｰﾄ	1）～5）メーカー・品番の指定はありません。仕上表に示す仕様・性能を満たすものとし、色柄等は監督員と協議してください。
51	AZ-005･102･120･121 内部 断熱について、 特記仕様書に施工範囲は建築工事標準詳細図(図 7-01-1)によるとあり、仕上表注記では断熱仕様及び範囲は断熱範囲図を参照のこととありますが、断熱範囲図がありません。また、断面図に配管ﾋﾟｯﾄ･ｻｳﾅ(男)･浴室(男)に硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付 t45(外壁面のみ)/t30(ｻｳﾅ上部)とありますが、範囲が不明確です。 断熱の範囲及び仕様詳細(種類、厚さ、不燃の有無)をご指示下さい。	屋根及び外壁は外断熱工法（外部仕上表・詳細図による）とし、内部の断熱は次のとおりとします。 ・外断熱工法が途切れる部分（熱橋部）：硬質ウレタンフォーム吹付 t45、折返し長さ L600 ・サウナ上部：硬質ウレタンフォーム吹付 t30 ・配管ピット内部（壁・天井）：硬質ウレタンフォーム吹付 t60 いずれも硬質ウレタンフォーム吹付（JIS A 9526 A 種 1H）とし、不燃材料の指定はありません。
52	AZ-107･120･121 ﾋﾟｯﾄ 仕上げについて、 下記をご指示下さい。 1) ﾋﾟｯﾄ図にﾋﾟｯﾄの図示がありますが、名称の記載がなく詳細が不明です。断面図より全て配管ﾋﾟｯﾄと考えてよろしいですか。 2) 上記質疑 1)が異なる場合、範囲と仕上げをご指示下さい。 3) 配管ﾋﾟｯﾄの仕上げについて、下記のように考えてよろしいですか。 床:ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ(素地仕上げ) 釜場:防水ﾓﾙﾀﾙ塗り(素地仕上げ) 壁･天井:ﾃﾗｽ下(FX5-6/FY1-3 通り)は打放し面補修(素地仕上げ)、左記以外は断熱材吹付(断面図より)	1）ご質問のとおり、全て配管ピットとします。 2）上記 1）のとおりです。 3）ご質問のとおりとします。
53	AZ-006 LGS 間仕切壁の設備貫通について、	1）天井の設備開口補強は、エアコン用 900×900 程度 4 か所、全熱交換器

	工事区分表にて設備開口補強が建築工事となっておりますが、現時点の図面では、設備開口のｻｲｽﾞ(径・WH 寸法)・位置(ﾚﾍﾞﾙ含む)・数量・開口ｻｲｽﾞ毎の補強要領が不明のため積算できません。間仕切壁の設備開口補強について、開口ｻｲｽﾞ毎の指示数量、ｻｲｽﾞ別の補強要領をご指示下さい。	用 700×625 程度 3 か所を見込んでください。補強要領は公共建築工事標準仕様書によります。なお、照明器具・換気扇・制気口・点検口等の小開口の補強は、天井下地に含むものとします。 2）LGS 間仕切壁の設備貫通で、スタッド間隔内に納まりスタッドを切断しないものは、開口補強不要とします。ダクト等でスタッドを切断する開口が生じる場合は、公共建築工事標準仕様書による開口部補強とし、監督員と協議の上、設計変更の対象とします。
54	AZ-002 総揮発性有機化合物の測定について、下記をご指示下さい。 1）⑨室内の空気中の化学物質濃度の測定 の「総揮発性有機化合物の測定」に適用印があり、測定方法・測定物質・測定箇所はこの仕様書の末尾に定める仕様書によるとありますが、他に「総揮発性有機化合物の測定」の記載がありません。室内の空気中の化学物質濃度の測定は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ・ﾄﾙｴﾝ・ｷｼﾚﾝ・ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ・ｽﾁﾚﾝ の 5 物質と考えてよろしいですか。 2）「総揮発性有機化合物の測定」を行う場合、測定方法・測定物質・測定箇所をご指示下さい。	1）ご質問のとおり、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの 5 物質とし、測定箇所は 2 室とします。 2）総揮発性有機化合物（TVOC）の測定は行いません。
55	AZ-102・104・408 消火器ついて、 下記をご指示下さい。 1）消火器は、内部仕上表 備考で通路休憩ｽﾍﾟｰｽ・脱衣室(男)(女)に設置とありますが、平面図-1 階(増築部)では、脱衣室(男)(女)のみです。通路休憩ｽﾍﾟｰｽは、屋内消火栓に 1 本設置と考えてよろしいですか。 2）消火器仕様は、ABC10 型と考えてよろしいですか。	1）通路休憩スペースは、北側渡り廊下付近に消火器ボックス 1 か所を見込んでください（脱衣室（男）（女）と合わせて計 3 か所）。 2）ご質問のとおり、ABC10 型とします。
56	AZ-102・104・201・202・501 脱衣室(男)(女) 脱衣ﾛｯｶｰについて、 下記をご指示下さい。 1）家具備品図-1 の姿図より、上から 3 段目は、扉無しのｵｰﾌﾟﾝ棚と考えてよろしいですか。 2）家具備品図-1 のｴﾝﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・ﾊﾞｯｸﾊﾟﾈﾙについて、姿図によると W465xH1800 8 枚・ W370xH1800 2 枚・W1100xH1800 5 枚とありますが、W370xH1800 2	1）ご質問のとおり、上から 3 段目は扉無しのオープン棚とします。 2）ご質問のとおり、エンドパネル・バックパネルは W465×H1800 8 枚のみとします。 3）ご質問のとおり、SECC 製 t0.8 とします。

	枚・W1100xH1800 5 枚の設置場所が不明です。W465xH1800 8 枚のみと考えてよろしいですか。 3) ｴﾝﾄﾞﾊﾟﾈﾙ・ﾊﾞｯｸﾊﾟﾈﾙの仕様にについて、 芯材はﾛｯｶｰ同様 SECC 製 t0.8 と考えてよろしいですか。	
57	AZ-151・152・402・・403 浴室(男)(女)・ﾃﾗｽ(男)(女) 浴槽手すりの仕様について、 詳細図-2・3 ではｽﾃﾝﾚｽ φ34 とありますが、平面詳細図 2-・3 ではｽﾃﾝﾚｽ φ36 となっています。ｽﾃﾝﾚｽ φ36 を正と考えてよろしいですか。	ステンレス φ34 を正とします。
58	AZ-005・140 天井点検口について、 仕様は下記の様に考えてよろしいですか。 ﾅｶ工業:HH-MMⅡf 同等 ｱﾙﾐ W450xD450 目地ﾀｲﾌﾟ ﾎﾜｲﾄ色 鍵付	ご質問のとおり、ナカ工業：HH-MMⅡf 同等品（アルミ W450×D450、目地タイプ、ホワイト色、鍵付）とします。
59	AZ-151・152・403 浴室 吐水口・桶台・隔て板の御影石(花こう岩)について、 産地・材種をご指示下さい。	産地・材種の指定はありません。色・柄は見本により監督員と協議してください。
60	AZ-151・152 浴室床・ﾃﾗｽ床について、 下記をご指示下さい。 1) W1200xD600・W2400xD600 程度の□印がありますが、浴室ﾏｯﾄと考えてよろしいですか。 2) 浴室ﾏｯﾄの仕様は、下記の様に考えてよろしいですか。 ｱﾄﾗｽ ark:ATM 同等 ｽﾃﾝﾚｽ製 ｴﾝﾎﾞｽ加工 t15  	1）□印は浴室マットではなく、洗い場前等で床勾配をなるべく設けない範囲を示すものです。浴室マットは不要とします。 2）上記 1）のとおりです。当該範囲の床勾配は、排水に支障のない範囲で極力緩やかにしてください。

61	AZ-404 各ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板について、 人造大理石の指示がありますが、ﾒｰｶｰ・品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。 色柄等は監督員と協議してください。
	(建具)	
62	AZ-004･132 ｱﾙﾐｻｯｼ性能について、 下記をご指示下さい。 1) 水密性について、特記仕様書では W-4 ですが、建具共通仕様書 標準事項では W-5 と食違います。特記仕様書を正と考えてよろしいですか。 2) 気密性について、特記仕様書では A-3 ですが、建具共通仕様書 標準事項では A-4 と食違います。特記仕様書を正と考えてよろしいですか。	1) 特記仕様書を正とし、水密性 W-4 とします。 2) 特記仕様書を正とし、気密性 A-3 とします。
63	AZ-004･132･302･303 ACW-1･2 について、 下記をご指示下さい。 1) W 寸法について、建具表では W7300 ですが、姿図・建具詳細図では W7275 と食違います。姿図･建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 2) H 寸法について、建具表では H3287~5370 ですが、姿図･建具詳細図では H3216~5220 と食違います。姿図･建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 3) ｶﾞﾗｽについて、建具表では FL5+A12+Low-E5 ですが、建具詳細図では A：FL5+A12+Low-E5(B･C 以外)・B：FL5+A-10+Low-E5(外倒し窓)・C：FL5+A6+Low-E5(片引きﾊﾝｶﾞｰ戸)と食違います。建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 4) 建具詳細図 B･C 断面 膳板について、ｽﾁｰﾙ PL-t1.6 の記載がありますが、浴室内の為、D 断面上部額縁に倣い、ｱﾙﾐ PL-t2.0 と考えてよろしいですか。 5) 上記膳板･上額縁 ｱﾙﾐ仕上げについて、ｱﾙﾐ ｱﾙﾏｲﾄ処理と考えてよろしいですか。 6) 水切り AL-PL-t2.0 について、仕上げが不明です。ｱﾙﾐ ｱﾙﾏｲﾄ処理と考えてよろしいですか。 7) 建具仕上げについて、特記仕様書・建具表でｱﾙﾏｲﾄ処理ですが、建具詳細図では電解と食違います。特記仕様書･建具表を正と考えてよろしいですか。 8) 引違い窓 (W2330xH1220 ・	1) 姿図・建具詳細図を正とし、W7275 とします。 2) 姿図・建具詳細図を正とし、H3216～5220 とします。 3) 建具詳細図を正とします。 4) ご質問のとおり、アルミ PL-t2.0 とします。 5) ご質問のとおり、アルマイト処理とします。 6) ご質問のとおり、アルマイト処理とします。 7) 特記仕様書・建具表を正とし、アルマイト処理とします。 8) ご質問のとおり、網戸を見込んでください。 9) ご質問のとおりとします。

	W1675xH565)において、特記仕様書より網戸を見込んでよろしいですか。 9) 上記網戸において、内部納まりの開き式と考えてよろしいですか。	
64	AZ-132・151 AD-1・2 について、 下記をご指示下さい。 1) 浴室仕様について、仕様をご指示下さい。 2) 水廻り側に建具枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞを見込んでよろしいですか。 3) ｶﾞﾗｽについて、AG(合わせｶﾞﾗｽ)t6.8(透明)とありますが、FL3+中間膜+FL3 と考えてよろしいですか。 4) 建具表 枠形状で詳細図の記載がありますが、詳細図がみられません。ご指示下さい。 5) 平面詳細図で額縁が見られますが、ｱﾙﾐ ｱﾙﾏｲﾄ処理 t2.0 AD-1 120x25・AD-2 300x25 と考えてよろしいですか。	1) 浴室に面するため、金物等はステンレス製又は防錆処理品とし、メーカーの浴室対応仕様としてください。 2) ご質問のとおり、見込んでください。 3) ご質問のとおり、FL3＋中間膜＋FL3 とします。 4) メーカー標準納まりとし、施工図にて監督員と協議してください。 5) ご質問のとおりとします。
65	AZ-132 AG-1 について、 建具表 枠形状で詳細図の記載がありますが、詳細図がみられません。ご指示下さい。	メーカー標準納まりとし、施工図にて監督員と協議してください。
66	AZ-004・132・407・120 AGB-1 について、 下記をご指示下さい。 1) 上下開口部 枠について、塞ぎﾌﾟﾚｰﾄ:ｱﾙﾐｻｯｼ同材を見込んでよろしいですか。 2) ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ寸法について、特記仕様書では 160x160 ですが、建具表・詳細図では 145x145 と食違います。建具表・詳細図を正と考えてよろしいですか。 3) ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ厚さについて、特記仕様書・詳細図では t95、建具表では記載無し、断面図では t50 と食違います。特記仕様書・詳細図を正と考えてよろしいですか。 4) 上記ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸのﾒｰｶｰ・品番をご指示下さい。	1) ご質問のとおり、アルミサッシ同材の塞ぎプレートを見込んでください。 2) 建具表・詳細図のとおり、ガラスブロック寸法は 145×145 とします（特記仕様書の 160×160 は目地を含むモジュール寸法です)。 3) 特記仕様書・詳細図を正とし、t95 とします。 4) メーカー・品番の指定はありません。監督員の承諾を受けてください。
67	AZ-131・132・300 SD-1 について、 下記をご指示下さい。 1) 枠見込みについて、建具表では見込み 100 ですが、建具詳細図では見込み 200 と食違います。建具詳細図を	1) 建具詳細図を正とし、見込み 200 とします。 2) ご質問のとおりとします。 3) メーカー・品番の指定はありません。浸水防止設備（止水高さ H1000）の性能を満たすものとし、監

	正と考えてよろしいですか。 2) 建具詳細図で取付け用三方枠が見られますが、ｽﾁｰﾙ FB-6x180 W2310xH2255 2-FUE と考えてよろしいですか。 3) SD-1(浸水防止設備 止水高さ H1000)について、ﾒｰｶｰ・品番がありましたらご指示下さい。 4) ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰについて、ｽﾄｯﾊﾟｰ付とありますが、特定防火設備の為、ｽﾄｯﾊﾟｰなしと考えてよろしいですか。 5) 金物について、両開き戸の為、順位調整器・ﾌﾗﾝｽ落しを見込んでよろしいですか。	督員の承諾を受けてください。 4) ご質問のとおり、ストッパーなしとします。 5) ご質問のとおり、見込んでください。
68	AZ-132・130・110 SD-7 について、 下記をご指示下さい。 1) 性能について、枠形状より SAT と考えてよろしいですか。 2) SAT について、扉・枠 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(32kg/m3)充填と考えてよろしいですか。 3) 防火性能について、建具表では防火性能無しですが、建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ・立面図では特定防火設備と食違います。特定防火設備と考えてよろしいですか。 4) 上記質疑により、ｶﾞﾗｽについて、建具表で PW6.8+A12+Low-E5 とありますが、FT8+A12+Low-E5 と読替えてよろしいですか。 5) SD-7 について、認定番号がありましたらご指示下さい。 6) 小庇(枠形状 S8)について、出幅が不明です。D30 と考えてよろしいですか。	1) ご質問のとおり、SAT とします。 2) ご質問のとおり、扉・枠にグラスウール（32kg/m3）を充填してください。 3) ご質問のとおり、特定防火設備とします。 4) ご質問のとおり、FT8（耐熱強化ガラス）＋A12＋Low-E5 に読み替えてください。なお、ガラス構成は特定防火設備の認定を受けたものとしてください。 5) 認定番号の指定はありません。メーカーの認定品としてください。 6) ご質問のとおり、D30 とします。
69	AZ-132・123 SD-8 について、 下記をご指示下さい。 1) W 寸法について、建具表では W870 ですが、階段詳細図では W850 と食違います。建具表を正と考えてよろしいですか。 2) 縦格子について、建具表では FB-38x9 ですが、階段詳細図では FB-19x6 と食違います。建具表を正と考えてよろしいですか。 3) 外周枠について、建具表では FB-	1) 建具表を正とし、W870 とします。 2) 階段詳細図を正とし、FB-19×6 とします。 3) 階段詳細図を正とし、FB-38×9 とします。 4) ご質問のとおり、補強を見込んでください。

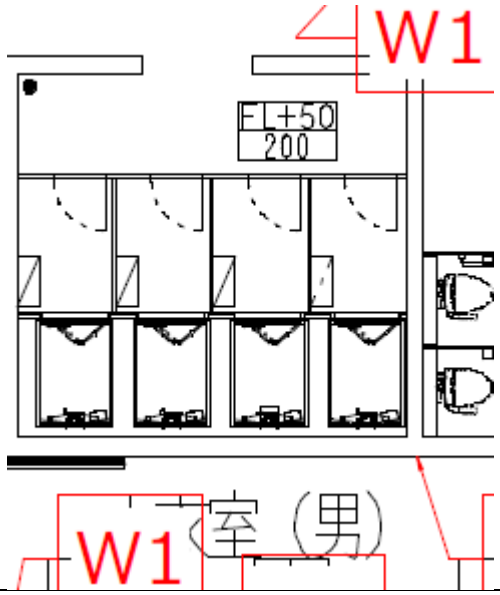
	50x9 ですが、階段詳細図では FB-38x9 と食違います。建具表を正と考えてよろしいですか。 4) 階段詳細図で補強 横桟 FB-19x61 本の記載がありますが、姿図で見られません。階段詳細図通り補強を見込んでよろしいですか。	
70	AZ-132・500 SD-3 について、建具小口・枠仕上が不明です。2-FUE と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、2-FUE とします。
71	No.70 AZ-131・132・301 SD-6 について、 下記をご指示下さい。 1) 建具開きについて、建具表では両開きですが、姿図・建具詳細図では親子開きと食違います。姿図・建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 2) W 寸法について、建具表・建具詳細図では W3250 ですが、姿図では W3241 と食違います。建具表・建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 3) 扉見込みについて、建具共通仕様書扉見込み寸法で該当なし、建具枠形状(F1・F2)で見込み 50、建具詳細図で見込み 55 と食違います。建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 4) 枠見込みについて、建具表では見込み 90 ですが、建具詳細図では見込み 131 と食違います。建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 5) ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰについて、ｽﾄｯﾊﾟｰ付とありますが、特定防火設備の為、ｽﾄｯﾊﾟｰなしと考えてよろしいですか。 6) 金物について、両開き戸の為、順位調整器・ﾌﾗﾝｽ落しを見込んでよろしいですか。	1) 姿図・建具詳細図を正とし、親子開きとします。 2) 建具表・建具詳細図を正とし、W3250 とします。 3) 建具詳細図を正とし、見込み 55 とします。 4) 建具詳細図を正とし、見込み 131 とします。 5) ご質問のとおり、ストッパーなしとします。 6) ご質問のとおり、見込んでください。
72	AZ-132・151 WD-1 について、 下記をご指示下さい。 1) 枠(見込 100)形状で詳細図の記載がありますが、詳細図がみられません。ご指示下さい。 2) 上記枠材の仕様をご指示下さい。 3) 扉小口の仕上げが不明です。OP と考えてよろしいですか。 4) WC 取付けの為、非常開錠装置付と考えてよろしいですか。	1) 既製品の枠付き建具とし、メーカー標準の枠形状とします。 2) 上記 1) のとおりです。 3) ご質問のとおり、OP とします。 4) ご質問のとおり、非常開錠装置付きとします。
73	AZ-132・131・150 WD-2 について、	1) 既製品の枠付き建具とし、メーカー標準の枠形状とします。

	下記をご指示下さい。 1）枠(見込 70)形状で詳細図の記載がありますが、詳細図がみられません。ご指示下さい。 2）上記枠材の仕様をご指示下さい。 3）扉小口の仕上げが不明です。OP と考えてよろしいですか。 4）H2700 の為、戸厚が不明です。戸厚 45 と考えてよろしいですか。	2）上記 1）のとおりです。 3）ご質問のとおり、OP とします。 4）ご質問のとおり、戸厚 45 とします。
74	AZ-004･132･304･200 SGB1~3 について、 下記をご指示下さい。 1）SGB-1 W 寸法について、建具表･建具詳細図では W2949 ですが、展開図では W2999(3069-35x2)と食違います。建具表･建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 2）SGB-2 W 寸法について、建具表･建具詳細図では W2149 ですが、展開図では W2199(2269-35x2)と食違います。建具表･建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 3）SGB1~3 枠について、特記仕様書でｽﾁｰﾙ枠の記載がありませんが、建具表備考 認定番号(EA-9178)よりｽﾁｰﾙ枠と考えてよろしいですか。 4）SGB-1~3 見込について、建具表では見込 100 ですが、建具詳細図では見込 130 と食違います。建具詳細図を正と考えてよろしいですか。 5）SGB-1~3 外額縁･膳板について、ｽﾁｰﾙ t1.6 ﾌｯ素樹脂焼付装 83x25 と考えてよろしいですか。 6）SGB-1~3 内額縁･膳板について、ｽﾁｰﾙ t1.6 ﾌｯ樹脂焼付装 45x25 と考えてよろしいですか。 7）ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ寸法について、特記仕様書では 160x160 ですが、建具表･詳細図では 190x190 と食違います。建具表･詳細図を正と考えてよろしいですか。 8）ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 種別について、特記仕様書では乳白ｶﾞﾗｽですが、建具表ではﾌﾟﾚｰﾝと食違います。建具表を正と考えてよろしいですか。 9）上記ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸのﾒｰｶｰ･品番をご指示下さい。	1）建具表・建具詳細図を正とし、W2949 とします。 2）建具表・建具詳細図を正とし、W2149 とします。 3）ご質問のとおり、スチール枠とします。 4）建具詳細図を正とし、見込み 130 とします。 5）ご質問のとおりとします。 6）ご質問のとおりとします。 7）建具表・詳細図を正とし、190×190 とします。 8）建具表を正とし、プレーンとします。 9）メーカー・品番の指定はありません。認定品としてください。
75	SD(1･2･3･4･5･7) くつずりについて、SUS t2.0 HL 仕上げと考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、SUS t2.0 HL 仕上げとします。
76	No.75 AZ-131･132	1）ご質問のとおり、SAT とします。 2）ご質問のとおり、扉・枠にグラス

	SD-2 について、 下記をご指示下さい。 1) 性能について、枠形状より SAT と考えてよろしいですか。 2) SAT について、扉・枠 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(32kg/m3)充填と考えてよろしいですか。 3) ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰについて、ｽﾄｯﾊﾟｰ付とありますが、特定防火設備の為、ｽﾄｯﾊﾟｰなしと考えてよろしいですか。 4) 小庇(枠形状 F8)について、出幅が不明です。D30 と考えてよろしいですか。	ウール（32kg/m3）を充填してください。 3) ご質問のとおり、ストッパーなしとします。 4) ご質問のとおり、D30 とします。
77	AZ-131・132 SD-4 について、 下記をご指示下さい。 1) 性能について、枠形状より SAT と考えてよろしいですか。 2) SAT について、扉・枠 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(32kg/m3)充填と考えてよろしいですか。 3) ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰについて、ｽﾄｯﾊﾟｰ付とありますが、特定防火設備の為、ｽﾄｯﾊﾟｰなしと考えてよろしいですか。 4) 金物について、両開き戸の為、順位調整器・ﾌﾗﾝｽ落しを見込んでよろしいですか。	1) ご質問のとおり、SAT とします。 2) ご質問のとおり、扉・枠にグラスウール（32kg/m3）を充填してください。 3) ご質問のとおり、ストッパーなしとします。 4) ご質問のとおり、順位調整器・フランス落しを見込んでください。
78	AZ-131・132 SD-5 について、 下記をご指示下さい。 1) 性能について、枠形状より SAT と考えてよろしいですか。 2) SAT について、扉・枠 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(32kg/m3)充填と考えてよろしいですか。	1) ご質問のとおり、SAT とします。 2) ご質問のとおり、扉・枠にグラスウール（32kg/m3）を充填してください。
	(外構)	
79	LZ-010 土間ｺﾝｸﾘｰﾄについて、 設計書 構造物工事に土間ｺﾝｸﾘｰﾄが 36.5m2 計上されていますが、外構平面図他に見当たりません。 範囲をご指示下さい。 又、ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6-150x150 を見込むと考えてよろしいですか。	1) 立面図に示す床 01 の部分です。 2) ご質問のとおり、ワイヤーメッシュ φ6-150×150 を見込んでください。
80	LZ-011 平板敷き撤去について、 既存外構図に 461.4m とありますが、計測すると 234m です。 234m を正と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、234m を正とします。(設計図面の記載誤りです。)
81	LZ-010・011 芝生の撤去について、 外構平面図に芝生の復旧(46.66m2、	増築建物下部を含む擬石平板施工範囲の芝生は撤去するものとしますが、根切り及び外構掘削（基面整正を含む）

	228.78m2、25.32m2)がありますが、既存外構図に芝生の撤去は記載されていません。 増築建物下部を含む擬石平板施工範囲の芝生の撤去を見込むと考えてよろしいですか。	に含むものとし、芝生撤去としての別途計上は不要です。
82	LZ-012 ﾚﾝｶﾞﾌﾞﾛｯｸについて、 ﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。既存レンガブロックと同等品（230×114×50）とし、監督員の承諾を受けてください。
83	LZ-012 下記項目について、 ﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。 1）浸透桝 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 2）集水桝 450 角・300 角 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	メーカー・品番の指定はありません。いずれも T-2 普通目とし、監督員の承諾を受けてください。
84	LZ-011・012 修景水路について、 下記をご指示下さい。 1）洗い出し平板のﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。 2）SUS ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞのﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。 3）笠木 御影石のｸﾞﾚｰﾄﾞをご指示下さい。	1）メーカー・品番の指定はありません。洗い出し平板 300×300×30 とし、監督員の承諾を受けてください。 2）メーカー・品番の指定はありません。監督員の承諾を受けてください。 3）グレードの指定はありません。既存と同等程度とし、見本により監督員と協議してください。
85	LZ-010 点字・誘導ﾀｲﾙについて、 ﾒｰｶｰ品番をご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。磁器質タイル 300 角とし、監督員の承諾を受けてください。
86	AZ-005 路床安定処理について、 特記仕様書-4 に添加材料 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとあります。下記をご指示下さい。 1）舗装下及び修景水路下部に施工すると考えてよろしいですか。 2）地盤改良ｾﾒﾝﾄ系改良材 100kg/m3 H1000 と考えてよろしいですか。	路床安定処理は見込みません（特記仕様書の記載は適用しません)。施工時に路床の支持力不足が認められた場合は、監督員と協議してください。なお、道路部の復旧は道路舗装復旧詳細図によります。
87	MZ-09・16 既存道路の舗装撤去・復旧について、 道路舗装復旧詳細図により L 型側溝・白線復旧・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧は設備工事範囲と考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、車道部の L 型側溝・白線復旧・アスファルト舗装復旧は機械設備工事とします。なお、道路舗装復旧詳細図のとおり、歩道復旧（表層：開粒度アスファルト混合物 t30、路盤：再生クラッシャラン RC-40 t150）は建築工事、埋戻し（再生クラッシャラン RC-40）及びサンドクッション（管上 300・管下 100）は機械設備工事とします。
88	下記項目について、 設計書に記載がありますが、図面上に見当たりません。 今回工事に見込むと考えてよろしいですか。 1）雨水小経口桝 100φ 2）散水撤去	ご質問のとおり、見込んでください。

89	LZ-010 ﾚﾝｶﾞﾌﾞﾛｯｸ撤去再設置について、 砕石まで撤去し、新たに砕石から復旧すると考えてよろしいですか。	ご質問のとおり、砕石まで撤去し、新たに砕石から復旧してください。
90	LZ-010 既存ﾚﾝｶﾞﾌﾞﾛｯｸについて、「工事車両走行等により破損･沈下･不陸が生じたか所は撤去のうえ再設置復旧する。」とありますが、どの程度の範囲を見込めばよろしいですか。	設計数量として 26 ㎡を見込んでください。これを超える範囲が生じた場合は、監督員と協議してください。
	(改修)	
91	ER-05,ER-06,EZ-04 今回増設幹線と思われる ER-06 図二重亀印Ａに記載あります。 二重四角Ｚ３～Ｚ８幹線が今回更新屋外型キュービクル内に記載有りません。 二重四角Ｚ３ HR-1 MCB3P400AF/300AT 二重四角Ｚ４ HWP1-1 MCB3P225AF/150AT 二重四角Ｚ５ HWP1-2 MCB3P225AF/150AT 二重四角Ｚ６ HWP1-3 MCB3P225AF/150AT 二重四角Ｚ７ HWP1-4 MCB3P225AF/150AT 二重四角Ｚ８ CP-2 MCB3P225AF/125AT を ER-05　蓄熱動力盤、一般動力盤に振り分けて追加と考えて よろしいでしょうか御指示下さい。 温浴施設棟、上記の各機器に手元開閉器見込むものと考えて よろしいでしょうか御指示下さい。	1）ご質問のとおり、二重四角 Z3～Z8 の幹線用配線用遮断器（Z3：MCB3P400AF/300AT、Z4～Z7：MCB3P225AF/150AT、Z8：MCB3P225AF/125AT）を、ER-05 の蓄熱動力盤・一般動力盤に振り分けて追加してください。 2）ご質問のとおり、温浴施設棟の上記各機器に手元開閉器を見込んでください。
92	点字鋲数量について、下記どちらを正といたしますか。 ・(AR212,301)点状 300 線上 132 ・(内訳)点状 250 線上 112	内訳書を正とし、点状 250・線状 112 とします。
93	(AR022)内部仕上〔屋外　下足室〕とは、男女更衣室前の下足棚のある前室のことでよろしいでしょうか。	ご質問のとおりです。
94	設計書内訳(14.内装工事)記載の壁ケイカル板張の施工箇所、範囲をご指示ください。	シャワー室の LGS 壁部分です。
95	(AR036)G20.雨水侵入防止軒天井張の詳細図をいただけますでしょうか。	G20 は、カーテンウォール方立と軒天取合い部からの雨水浸入（風による吹上げ）を防止するためのものです。取合い部の既存シーリングを撤去の上、変性シリコン系シーリングにて再施工し、取合い部の軒天を G2 と同材（フッ素樹脂鋼板 t0.4 加工）にて塞いで

		ください。形状・寸法は現地確認の上、施工図にて監督員と協議してください。
96	回廊接続部点天井グラスウールは16Kt100でよろしいでしょうか。	ご質問のとおり、グラスウール 16Kt100とします。
97	(AR-020)天井(4)壁～天井の取合いは天井付き目地塩ビ製見切縁となっていますが、天井仕上げバスリブパネル部分は全てアルミ製でよろしいでしょうか。	ご質問のとおり、天井仕上げバスリブパネル部分は全てアルミ製とします。
98	休憩スペース鋼製置床の施工範囲は添付別紙図面の範囲でよろしいでしょうか。	ご質問のとおり、添付別紙の範囲とします。
99	(AR020)外部仕上 壁、柱、はり 既存の項目にコンクリートふっ素樹脂系浸透性吸水防止剤塗と記載があります。改修仕上は酸性バイオ洗浄 浸透性吸水防止剤塗とありますが、種類はフッ素系かシリコン系か仕様をご指示ください。	既存に合わせ、フッ素系とします。
100	16ユニット工事 シャワーユニット　内訳では0808サイズですが、図面では長方形（0812サイズ）と思われますが、図面が正でしょうか。 	内訳書のとおり、0808サイズを正とします（改修平面詳細図 AR-206・207のとおり）。0812サイズは既存のシャワーユニットです。